

浅田宗伯 医案④

日本橋通四街 加勢屋忠兵衛母。六十余。感冒後遍身洪腫。脈浮大、二便不通、身体凝固して起臥すること能わず。時々悪寒す。其子、屢ば治水の薬を進めて腫益す甚し。余診して曰く、風水なり。大発汗にあらざれば効なしと。大青竜湯を連服せしむ。温覆発汗を為す。果して腫大いに感じ。身体軽便す。心下痞塞、両足少しく麻痺を覚ゆるのみ。九味檳榔湯を与えて全く愈ゆ。余暴水腫を治する数人。老少を論ぜず。越婢湯を用いず、大青竜湯を与えて奇効を奏す。盖し吾友泰仲の伝なり。